

令和8年 第7回八雲町議会全員協議会会議録

令和8年3月26日 議員控室

○協議事項

(1) 八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会の設置について

○出席議員（14名）

議長 大久保 建一 君
赤井 睦美 君
横田 喜世志 君
関口 正博 君
安藤 辰行 君
水野 博美 君
小西 雄一 君

副議長 宮本 雅晴 君
三澤 公雄 君
黒島 竹満 君
牧野 仁 君
斎藤 實 君
寺田 広樹 君
倉地 清子 君

○欠席議員（0名）

○出席事務局職員

事務局長 野口 義人 君
庶務係長 千代 貴大 君

事務局次長 藤原 悟史 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保建一君） おはようございます。ちょっと時間早いですけれども、始めたいと思います。令和8年第7回全員協議会を始めたいと思います。

議長挨拶は特にないんですけども、10時から臨時会を予定しておりますので早めの協議をお願いいたします。

◎ 協議事項

○議長（大久保建一君） 3番、協議事項、八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会の設置について協議いたします。まず、これの設置につきましては、議会運営委員会のほうで協議しておりますので、議運の委員長からちょっと。

○委員長（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井委員長。

○委員長（赤井睦美君） お手元にその決議って載ってますけれども、会派にそれぞれ持ち寄って会派としてどうですかという意見を聞き、皆さん設置したほうがいいということになり、設置することになりました。

それで人数ですけども、一応会派で強制的に全員でやりましょうってことにはならないので、皆さん会派からだいたい出たい人が手を挙げて、最終的に全員やりたいってことになればそれはそれで全員ということになるんですけども、そういうかたちで各会派から人数出してくださいっていうことで終わりましたので、今日改めてここでお話し合いをして設置したいと思います。よろしくお願ひいたします。

○議長（大久保建一君） 事務局から何かありますか。

○議会事務局長（野口義人君） いえ、ないです。

決議文がすいません。1ヶ所間違いがございましたので、目的の下から3行目。改めて特別委員会の設置よりでなくて、設置によりということで訂正をよろしくお願ひします。

○議長（大久保建一君） に、という一言が入ってます。

○議会事務局長（野口義人君） 申し訳ございません。

○議長（大久保建一君） はい。そしたら、ここで全員参加するかどうか決めたほうがいいんだよね。

○議会事務局長（野口義人君） はい。最終決定していただきたいと思います。

○議長（大久保建一君） ということで、議運の委員長のほうから報告ありますけれども、まずここで全員参加するかどうか。作るとすれば、誰々が参加するかってことは協議しておかなきゃならないのでそれについて協議したいと思います。

何か意見等ございますでしょうか。

○議員（斎藤 實君） はい。ちょっと待つて。

○議長（大久保建一君） 斎藤議員。

○議員（斎藤 實君） 特別委員会作ってまた人数少なくしてやったときに、もう一回全議員に周知しなきゃないっていうことになる、やっぱり時間のロスになるんで一回のほうがいいんじゃないですか。全員でやったほうがいいんじゃないですか。

○議長（大久保健一君） 他、意見ございますか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保健一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） これは、スピード感を行政側に合わせなきゃなんないんです。それで、我々も新しい予算案ということで可決してますんで、当然その行政側のスピードに合わせた特別委員会の運営というものが必要になってくると思います。

そのためには、僕はやっぱり基本設計までにある程度議会としての統一見解を出すべきであろう。そうなったときには、そのスピード感を合わせるためには、相当集中的な議論が必要になるであろうっていうのは、集まる回数を多くしなきゃならないということになるかと思えます。

それで、全員でなった場合に、当然それぞれの議員の都合等あってこの年度末ということもあるんで、なかなか重いものになるのかな。全員でもいいんだけど、参加そのものに対してはあまり強制するべきではないのかなっていうふうには思うんですね。

おそらくですよ。行政側は4月の上旬には入札準備にかかっていくでしょ。その前には、ある程度、議会としての統一見解を出すようなかたちをとらなきゃなんないですから、それがいいのであれば全員ということでもいいかと思えますけれども、もしそれがはばかるのであれば、人数というのは絞ったほうがいいということも検討するべきかなというふうには思います。

これまでの特別委員会ではちょっとスピード感が全然違うかなと思ってますんで、そこは皆さんも考えていただきたいなというふうには思います。

○議長（大久保健一君） 事務局、今ので特別委員会の成立事項というのは、出席議員の何人とかってあるんでしょ。

○議会事務局長（野口義人君） 常任委員会は委員会ですから、半分以上の出席で定足数が認められます。

○議長（大久保健一君） 特別委員会なんで、あまり出席を強制しないといってもやっぱり委員会にある以上は、会議運営規則で半数以上の出席じゃないと委員会が成立しないということにはなりますので、そこら辺だけに含んでおいてください。

他、ご意見ございますでしょうか。

○議員（横田喜世志君） はい。

○議長（大久保健一君） 横田議員。

○議員（横田喜世志君） 前回というか、前も委員会を作って調査やった中でね、要はそういうちっちゃいグループ作ってっていうのでやったわけですから、今回もそんな全員参加しなきゃならないっていう話にはならないのかなと思うんです。

だから、スピード感を持って尚且つ今回の特別委員会の委員は集中してっていうことであれば、みんなに声かけてというよりは、人数を絞った中でなるべくみんなが集まるような方法を考えるには、ある程度人数絞ったほうがいいかなと思うんですけどね。

○議長（大久保健一君） ごめんなさい、人数を絞ったほうがいい。絞った方がいいと思ったっていう意見ですね。

- 議員（横田喜世志君） 要は、半数なら半数にしたほうがいいかなって思うんですよね。
- 議長（大久保建一君） 全体の半分ぐらいの意味ですか。
- 議員（横田喜世志君） はい。
- 議長（大久保建一君） 他に。
- 議員（斎藤 實君） はい。
- 議長（大久保建一君） 斎藤議員。
- 議員（斎藤 實君） いや、半数でも何人でもいいんだけど、結局残った人にある程度こういう方向性でもっていい委員会として決めましたと、やっぱり報告しなきゃいけないわけでしょ。その時間的なことあるからさ。その辺のところはどうなのかなということなんですよ、私の考え方としてね。
- スピードもつんだら、とりあえず全員でもってもいいのかなって言うふうに思うんですけどね。その代わり、委員長になる人は相対前もって準備しながらやっていかなければいけないのかなというふうには思うんですけどね。
- 議長（大久保建一君） ほか。
- 議員（水野博美君） はい。
- 議長（大久保建一君） 水野議員。
- 議員（水野博美君） 私も斎藤議員の考えに、集まるのはちょっと大変だと思うんですけど、皆さんに本当にスピードで伝達というか、きちんと伝達して理解しながらやっていくなれば、集まる回数大変だとは思いますが、皆さんに周知しながら進めていったほうがいいと思います。以上です。
- 議長（大久保建一君） 他、ありますか。
- 議員（三澤公雄君） はい。
- 議長（大久保建一君） 三澤議員。
- 議員（三澤公雄君） ちょっといろんなことがごちゃごちゃになってると思うんだけど、例えば全員で構成して半数というのは、その会が成立するために過半数の出席が必要だ。
- だから特別委員会を開催しても、出席者が半数に満たなかったら開催したことが記録としても残せないということで半数っていうこと。そして、横田さんが言った、小さいグループでっていうのは、かつての調査特別委員会では、目的を持ってチームを分けたんですよ。
- なので、全員で参加した後に、具体的に調査項目を絞れるなら、小グループに分けてそれぞれの進捗を図っていくっていうやり方をとりましたんで、今回全員で組織した後で、そういった調査項目をいくつも具体的に設けられたなら、小グループでやることは可能だと思います。
- もう一つ水野さんは言われた周知って言いますが、全員でもし組織したのであれば、全員がメンバーであるから、例えば欠席して情報が自分のとこに来なかったよと言ってもそれは本人の責任なんですよ。
- 議員（斎藤 實君） それはそうだ。
- 議員（三澤公雄君） 会議録だとかそういうものを後から自分で求めて、追いついてもらうということで大丈夫だと思いますんで、ちょっと何か認識がずれてた中で発言がいくつも重なったんで、今自分なりに整理していました。そういうことだと思いますけど。

○議長（大久保建一君） 今、選抜チームで少人数でやるか、全員でやるかに分かれてたんですけど、そこをまずはっきりさせたいと思いますので、どうします。決取ります。

○議員（斎藤 實君） 決とっていいよ。それは皆さんの意志だから。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 今のいろんな意見を踏まえてね、とりあえず全員で組んで、ただやっぱり期間っていうのがちょっとあるかなと思うんだけど、まず1回目のこれまでの流れでいったら提言書を作るまでの、これをまず僕はすごく急ぎたいなっていうやっぱり思いがあって、また議会としての意見をまとめる提言書を作る特別委員会の中でそういうチームをまず作るってことは可能なのか。

当然全員で構成するんだけど、それを作るまでの段階っていうのはここ2、3週間だと思うんで、2、3週間ならちょっと遅いような行政のスピードに合わせるとすれば10日とかそのぐらいになるかと思うんだけど、来週いっぱいぐらい、そのぐらいまで提言書をもとめるチームみたいなものを特別委員会の中で作れるのであれば、そういう対応もいいのかなっていうふうには思いました。

○議長（大久保建一君） わかりました。

事務局、それは問題ないの。

○議会事務局長（野口義人君） 特別委員会の母体があった中で、小委員会ってかたちでスタートさせるのは可能だと思いますので。

○議員（関口正博君） そういうかたちもあるからね。

○議長（大久保建一君） わかりました。ということ踏まえた上で皆さんにお諮りします。じゃあ、全員参加ということでよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） いいですね。

それでは庁舎についての特別委員会については、全員が所属し、やっていくということで決まりましたと、よろしいですね。

○議長（大久保建一君） これはこれでいいですか。

○議会事務局長（野口義人君） これはこれでいいんですけど、できれば今度本会議中でこの決議を行って休憩とって正副委員長を決めますんで、もし今お時間あるんで、できればある程度正副委員長の目途も立てて欲しいと思います。

○議長（大久保建一君） 本来であれば、委員が集まって互選ってことになるんですけど、ここでちょっと下地を作っておきたいと思いますので、委員長が誰がいいのかっていうお話なんですけど、何か意見ございますか。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（大久保建一君） 斎藤議員。

○議員（斎藤 實君） 私は関口議員にお願いしたい。

○議長（大久保建一君） 関口委員。

他、ございますか。

（「賛成」という声あり）

○議長（大久保建一君）　じゃあ、関口議員という声がありまして、異論がございませんのでそのようなかたちで委員会の互選のときには進めていただきたいと思いますので、よろしく願います。

○議員（倉地清子君）　はい。

○議長（大久保建一君）　倉地議員。

○議員（倉地清子君）　これから病院の特別委員会も設置の方向に行くと思うんですけど、この2つ委員長って可能なんですか。この前聞いたらちょっと難しいって話だったんですけど。

○議長（大久保建一君）　特別委員会を2つ設置して、両方とも委員長やるのは難しいかと。

○議員（倉地清子君）　はい。

○議長（大久保建一君）　事務局、回答をお願いします。

○議会事務局長（野口義人君）　はい。制度上は駄目ってことはございませんので。

○議員（倉地清子君）　そうなんだ。

○議会事務局長（野口義人君）　あくまでもこの14人のメンバーの中で合意ができれば、重複して委員長をやってもそれは全然問題ないです。

○議長（大久保建一君）　副委員長まで話したほうがいい。

○議会事務局長（野口義人君）　流れ的には、委員長が決まれば、多分委員長の指名というかたちになるかなと思いますけど、もしここで選抜できるのであれば。

○議長（大久保建一君）　副委員長のご指名があるのであれば、今のうちから言っておいていただければ覚悟が決まるかなとは思いますが、関口予定者はどうでしょうか。

○議員（関口正博君）　はい。

○議長（大久保建一君）　関口議員。

○議員（関口正博君）　まず、とても重責でありますけど。

○議員（斎藤　實君）　よろしく願います。

○議員（関口正博君）　皆さんで協力して作っていくもんですからね、誰が委員長だとか誰が副委員長だとかっていうことはあんまりそんな考えずに、皆さんの意見をできる限り集約した中で進めたいと思ってますので、僕は副委員長にはこだわりません。皆さんで決めてください。

もし立候補者がいるのであれば、それでもいいです。けれども、僕自身も動きやすい体制をどうせなら取らせていただきたいんで、そこだけは十分に留意してくださる方がなっただけであればいいなというふうには思っております。スピード感がとても大事です。そこをちゃんと理解してくれるようお願いしたいと思います。

○議長（大久保建一君）　では、副委員長を特別指名はないということなんで、立候補、推薦等ございますか。

○議員（黒島竹満君）　はい。

○議長（大久保建一君）　黒島議員。

○議員（黒島竹満君）　私の会派から横田議員をお願いします。

○議長（大久保建一君）　横田議員を推薦するということですね。

○議員（黒島竹満君）　はい。

○議長（大久保建一君）　横田議員を推薦したいということなんですけれども、他ございますか。

○議員（水野博美君）　はい。

- 議長（大久保健一君） 水野議員。
- 議員（水野博美君） 私は斎藤さんにもしね何回も出れないんだったらリモートでも可能だと思うので、斎藤さんをお願いしたいんですけどどうでしょうか。
- 議員（斎藤 實君） いや、リモートでは駄目です。
- 議員（水野博美君） はい。じゃあ、来てください。
- 議員（斎藤 實君） 来なければだめでしょ。
- 議員（赤井睦美君） 監査委員もやってるからね。
- 議員（水野博美君） どうでしょう。
- 議員（安藤辰行君） 会派代表って言ってんだから。
- 議員（三澤公雄君） だって今会派の代表からって言ったんだから、その後に会派の外からね、会派の中で別な人を言うということは、ちょっと会議の流れからいって。
- 議員（赤井睦美君） これって会派関係あるんですか。
- 議員（三澤公雄君） 会派の代表者が会派の中から横田さんを推薦しますって言ったんだから。
- 議員（安藤辰行君） おかしいべやそれ。
- 議員（赤井睦美君） 全体で考えたときには主なっていう意見は、その意見は意見としてやっぱり私は受けたほうがいいと思うんですよ。

会派としてはそういう意見だけでも、全体の意見としてこういう意見もありますよっていうことは受けたほうが、否定せずに。

- 議員（黒島竹満君） はい。
- 議長（大久保健一君） 黒島議員。
- 議員（黒島竹満君） そういうことになると、会派の立場だとか、会派の会議っていうのがちょっとおかしくなるんですよ。

だから、やっぱりその辺はきちっとやっぱり会派のほうで推薦するのが推薦するっていうかたちの中でね、やっていかないとまずいことになると思いますよ。

- 議長（大久保健一君） 要は、黒島議員の会派では、会派の中の話し合いの上で横田議員を推薦するってことになったってことですね。
- 議員（黒島竹満君） はい。
- 議長（大久保健一君） 他ございますでしょうか。
- 議員（倉地清子君） はい。

○議長（大久保健一君） 倉地委員。推薦なんですけれども、私は三澤議員に副委員長をお願いしたいなと思ってます。

それは理由があって、結構熱量あるからちょっと誤解されるところもあるけれど、すごく真剣に取り組んでるのは見ててわかってて、最もなことを言われてるなっていうことは私もちょっと勉強させてもらってるんで個人意見として。

- 議員（三澤公雄君） いや、倉地さんはまだ経験が浅いんで。副委員長というのは、委員長が欠けたときに委員会を敷きリードしていかなきゃいけないんで。今、僕の立場は、全体を指揮系統するほどの信頼感を得られていないと思いますんで、副にはふさわしくないと思いますね。
- 議員（倉地清子君） はい。
- 議長（大久保健一君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） 取り下げます。

○議長（大久保建一君） 他、ございますでしょうか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） ないですか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） では、今のところ推薦が横田議員を指名ということですが、横田議員ということでもうここで決めちゃう感じでいいですか。

○議会事務局長（野口義人君） 流力的にはもう（聞き取り不能）指名で。

○議長（大久保建一君） それじゃあ、横田議員ということで。正式に決まるのは1回目になるんだけど、横田議員ということでいいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） いいですか。

そういうことで決まりましたので、後ほど休憩中の特別委員会の開催のときには、そういうことでよろしく願いいたします。

次、その他お持ち合わせの方いらっしゃいますでしょうか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 先ほど、倉地議員から病院の特別委員会ということをおっしゃってましたけれども、これは町長の直々のお願いでもあるんで、これは僕は早急に立ち上げたほうがいいかなというふうに思います。

病院は庁舎に比べて相当長い日数話し合っていかなきゃならないんで、できる限り早く設置をするということが僕は望ましいと思いますけれども、それも時間があれば、この委員長と副委員長なんていうのは後からでもいいけど、日程をちゃんと決めていただきたいなというふうに思いますけど、どうでしょう。

○議長（大久保建一君） ただいま関口議員からの提案がございましたけれども、なるべく病院の特別委員会の設置も急いだほうがいいんじゃないかという提案がありました。

今までは事務局等と私も話して設置は6月定例会とかって考えてたんですけども、この提案を受けたとして皆さんが認めるとなると、4月、5月の臨時会等で設置するといったことになっていきますけど、皆様のご意見を伺いたいと思います。

○議員（斎藤 實君） 私も関口さんの考え方でいいと思います。

○議長（大久保建一君） 急いだほうがいい。他、ございますか。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（大久保建一君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） 私も関口議員と同じです。

○議長（大久保建一君） 他ありますか。

○議員（横田喜世志君） はい。

○議長（大久保建一君） 私もなるべく早くっていうか、今回の調査特別委員会と同時ぐらいでもいいんじゃないかと思って。

○議長（大久保建一君） ちょっと同時は。ほか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） 大体皆さんそういった意見でよろしいですか。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 早いほうがいいっていうのは賛成です。だけど本当に時間的にね、大変になるから、みんな相当の覚悟を持って立ち上げていただきたいと思います。

○議長（大久保建一君） じゃあ皆さん、時期的には早くやったほうがいいということによろしいですね。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） それでは、これから事務局と相談の上、できる限り早めに臨時会等で立ち上げていくということにいたしますので、ちょっと期末忙しいですけど、皆さん頑張って出席のほうお願いいたします。

他、ございますでしょうか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 庁舎特別委員会なんですけれども、臨時会終わった後の全協で少し時間をいただきたいと思うんですけど、それは可能でしょうか。

○議会事務局長（野口義人君） はい。行政側の報告が終わったら、議員さんだけの時間とりますので。

○議長（大久保建一君） わかりました。大丈夫だと思いますので、まず町長たちのほうで報告議案がある。それが終わったら、議員のみでということによろしいですね。

○議員（関口正博君） いただければと思います。お願いします。

○議長（大久保建一君） わかりました。

○議員（斎藤 實君） いや、第一回の特別委員会も開けばいいでしょ。

○議員（関口正博君） はい、そのかたちでも良ければ。

○議長（大久保建一君） 全員協議会でなくて、特別委員会でも大丈夫ですか。

○議員（斎藤 實君） 大丈夫、大丈夫。議会で設置しちゃう。

○議会事務局長（野口義人君） 第1回はここで正副委員長を決めるんだけど、ただ休憩中なんで、できるだけ早く。

○議員（三澤公雄君） 第1回はね。

○議長（大久保建一君） 第2回ってことでもいいの。

○議員（関口正博君） 一応50回やる予定でいますので。

○議長（大久保建一君） それでは、よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） 事務局いいですか。

○議会事務局長（野口義人君） はい。

○議長（大久保建一君） なければ、以上で第7回全員協議会を閉会いたします。お疲れ様です。

本会議でよろしくお願いいたします。

[閉会 午前9時48分]